

令和元年度町政懇談会『タウンミーティング』 まとめ

令和元年7月2日 ～8月8日 実施【12会場】

1. 新庁舎建設計画について
 2. 地域の状況等について
 3. 町への 質疑、意見・提言、要望 等
- 全 125 件

令和元年度町政懇談会『タウンミーティング』まとめ 目次

1. 新庁舎建設計画について	1 ページ
2. 地域の状況等について	4 ページ
3. 町への 質疑、意見・提言、要望 等	13 ページ
(付録) アンケート結果集計表		

令和元年度町政懇談会『タウンミーティング』 まとめ

1. 新庁舎建設計画について 【質疑、意見・提言、要望】

全 19 件

令和元年7月2日 ～8月8日 実施 【12会場】

No.	地区	会場	区分	質疑や要望等の内容	当日回答	担当課補足等
1	瑞穂	山村開発センター	質疑	新庁舎が出来ることを一町民として喜んでいる。(工事等)安全第一でお願いしたい。建設事業費は29億5千万円との説明だったが、今年の予算としては、資料のとおり9億1千万円程ということで、最終的に29億5千万円かかるということか。	全体として29億5千万円を見込んでいます。そのうち約9億1千万円を今年度予算としており、次年度以降、更に予算を組んでいくことになります。	
2	瑞穂	山村開発センター	質疑	新庁舎建設に向けて、積立金などの準備はされているのか。	これまで基金などの準備はされてきておりません。財源としては、有利な合併特例債を活用します。	
3	瑞穂	山村開発センター	質疑	資料を見ると、歳入の町債は19億4,630万円、歳出の公債費は14億9,583万円となっており、借金が増えるようだが、こういった財政運営で大丈夫なのか。	財政状況は厳しいですが、資金については、借り入れ後に国から財政措置がある等の有利なものを活用することで、後年度の負担が軽減できるよう、進めてまいります。	
4	瑞穂	山村開発センター	質疑	町内産木材を利用するという考え方は良く分かったが、木造は耐用年数も短い。又、災害時に避難する建物といえば鉄骨や鉄筋コンクリートの方が良いのではないかと思う。町内の林業の活性化や木材利用への考えが先行していると感じるが、無理の無いようにコスト削減をお願いしたい。	新庁舎は木材だけでなく、鉄筋コンクリートで挟んだような構造としており、災害に強い構造を意識しています。税法上などでは、鉄筋コンクリートの方が耐用年数が長いですが、木造もしっかりメンテナンスをすれば、長寿命化が図れると考えています。木材利用については、国も府も公共建築物は木造でという方針であり、国連でも木材をしっかり活用しようという取り組みがされています。併せて森を守り国土や環境を守ることを考えています。	
5	瑞穂	梅田振興センター	質疑	町長の考え方として、新庁舎には図書館をつくりたいという意向があったが、予算の関係でできないのは仕方ないが、代替としてどこかに設置されるのか教えていただきたい。また、交流ラウンジの近くにトイレがあった方が高齢の方の負担にならないと思う。トイレはどのくらいの数を設置するのか。	図書館は、財政的な関係で新庁舎と同時に整備することは難しいので、今後整備するのであれば、図面右上の駐車場のスペースに整備していきたい。ただ、本がある図書館が理想であるが、いろんなご意見をいただいた中、京丹波町には自分で買ってきた本を読む場所や学生が受験前に勉強する場所がない。まずはそういったことができる交流ラウンジを新庁舎の中に整備することとしました。トイレについては、交流ラウンジからは少し奥になりますが、スペース配置の関係でこの位置にしました。 【補足】 1箇所は、男性(大)2基、(小)2基 女性(大)3基、もう1箇所は、男性(大)2基、(小)4基 女性(大)3基 2階の大会議室近くのトイレは、男性(大)2基、(小)4基 女性(大)5基を設けています。	

No.	地区	会場	区分	質疑や要望等の内容	当日回答	担当課補足等
6	瑞穂	梅田振興センター	質疑	交流ラウンジに喫茶コーナー等はないか。	喫茶ができる設備は整っている。喫茶を行うには事業者が必要となるので、現在検討中です。	
7	瑞穂	三ノ宮基幹集落センター	質疑	建設経費は29億5千万円となっているが、当初からどの程度削減できたのか。 また、着工は秋と思われるが、契約時の消費税は10%となるのか、8%となるのか。	当初34億円であったが、教育委員会など庁舎への集約部署を減らし、約4億数千万円の削減ができました。 消費税については、今契約しても完成が2年後であるため消費税10%での契約となります。	
8	瑞穂	三ノ宮基幹集落センター	質疑	現在の建設算出経費29億5千万円は、消費税8%で算出しているのか。	消費税8%で算出しています。 詳細設計においてコストを減らせるように検討中で、もう少しではっきりした金額が示せます。	
9	瑞穂	三ノ宮基幹集落センター	質疑	太陽光発電による電力供給活用の考えは無いのか。	庁舎への太陽光発電設備の設置は、屋根の強度を上げる必要があり、コストが高むことから考えていませんが、倉庫の屋根への設置は計画しています。一部ではありますが活用したいと考えています。	
10	瑞穂	質美振興センター	要望	車いす利用の来庁者が車から乗降する広い場所と屋根は設けてあるか。ゆっくり落ちていて乗降できるように考えてほしい。高速道路PAでも屋根付き乗降スペースが増えている。	乗降場所は駐車場の建物に近い位置に設けます。屋根付きは計画していませんが、屋根付き通路沿いで乗降することができます。	
11	瑞穂	質美振興センター	質疑	現庁舎の将来の活用は。	現庁舎の活用計画はありません。将来、撤去することになると思います。	
12	瑞穂	質美振興センター	質疑	現庁舎と新庁舎のランニングコストの比較はされているか。	現庁舎の実績は把握していますが、詳細資料を持ち合わせていません。後日報告します。新庁舎はLED照明などでランニングコストを削減させます。	新庁舎は延床面積が約4,800㎡で現庁舎1,880㎡と比べて2.6倍となりますので、ランニングコストは増加します。ちなみに、電気使用量は、省エネ効果の高い器具等を用いることで、面積増加率と比例して削減効果があると考えています。
13	和知	市場ふれあいプラザ	質疑	建物内は木造・町内産材使用とのことだが、どの程度使用するのか。	主要構造材は100%町内産材を使用し、その他端材など内外装材にも活用することとしています。	

No.	地区	会場	区分	質疑や要望等の内容	当日回答	担当課補足等
14	和知	市場ふれあいプラザ	質疑	概算で29億5千万円とのことだが、実際にはさらに増額ということにはならないか。	現時点の試算を示しておりますが、この試算には消費税増額分や労務単価の増額分は含んでいません。詳細設計において、コストダウンをさらに検討し、大幅な増額とならないようにします。	
15	和知	細谷共同集会所	質疑	新庁舎の耐震について、震度どのくらいまで耐えられるのか。	通常の耐震基準から2段階あげた1.5倍の耐震性能を持った建物として設計しています。	
16	和知	細谷共同集会所	質疑	駐車場を今後、図書館という説明があった。新庁舎は中央公民館の機能（図書館・貸館）を兼ね備えた施設としてはどうか。	中央公民館も建築年度から耐震基準を満たしているとはいえないと考えており、このため新庁舎に200人収容可能な会議室ならびに読書等に利用できる交流スペースも設けたところです。中央公民館を建て直す計画は、現時点ではありません。	
17	和知	和知ふれあいセンター	質疑	木造建物であるが消火対策として、自動消火装置など設置されるのか。	トイレを除く部分にスプリンクラーを設置します。また、避難の導線として階段を2箇所設置します。	
18	和知	広野公民館	要望	新庁舎は初期消火への対応を十分に行っていただきたい。	トイレにはありませんが、ほぼ全体にスプリンクラーを設置します。柱は準耐火構造になっており、燃え代として45ミリ柱を太くすることで45分間燃えても倒壊しない工夫を行っています。また、階段を多く設置して屋外に避難しやすくなっています。	
19	丹波	富田公民館	意見	計画段階で地域住民とひざを交えて話をする事が出来なかったのか。結果報告と解釈をしている。建物の負担は若い世代が負担を行うことになる。コスト面のことも考えてもう少し慎重に進めていただきたい。	詳細設計まで進んでいますが、今まで建築検討委員会、設計ワークショップ等、色々なところでご意見をいただいたと考えています。建築の場所についても、コスト等も検討してふさわしい場所を選定したところです。町として機能するためには必要な施設は整備する必要があると考えており、多くのご意見を伺いながら進めたいと考えております。	

令和元年度町政懇談会『タウンミーティング』 まとめ

2. 地域の状況等について 【質疑、意見・提言、要望】

全 44 件

令和元年7月2日 ～8月8日 実施 【12会場】

令和元年度町政懇談会『タウンミーティング』まとめ

【地域の状況等について】

No.	地区	会場	区分	質疑や要望等の内容	当日回答	補足等
1	瑞穂	梅田振興センター	要望	水原区は水害が多い地区である。町の災害復旧事業に係る予算は843万円である。災害が起こるまでの対策を進める必要がある。国や京都府に強く要望して予算どりをしていただきたい。せっかく農業に力をいれても災害によって米がだめになる状況もある。	国では国土強靱化に向けて大きく予算を確保しています。土師川の改修については、以前から要望を行っているが、大規模な改修には至っていない状況です。今後についても要望を行っていきたいと考えています。	
2	瑞穂	梅田振興センター	質疑	有害鳥獣対策について、梅田振興会では猿追い隊を編成して猿を追っていただいている。この時期には1固体約50頭の群れが来る。心配しているのは猟師の高齢化で、梅田地域では本格的に動ける人が3名になってしまった。町では猟師の育成はどうなっているのか。また、猟師の数が増えないのか理由が知りたい。	今町内全体で約70名の猟師がおられ、講習会の援助や銃弾の補助を行っています。猟師になるには狩猟免許の取得と猟師として登録が必要です。この手続きにはかなりのお金が必要です。有害鳥獣対策で行う方については免除できないかと京都府に要望したところですが、ジビエ料理などに利用できる処理施設も検討していきたいと考えています。	
3	瑞穂	三ノ宮基幹集落センター	要望	区長をしている。京丹波町は範囲が広く大小の区がたくさんあるが、小さな区では町から依頼を受けて推薦しなければならない役について、対応に大変苦慮している。全ての委員の役割は大切と思うが、選出方法をもう少し考えてもらえないか。	解決策は皆さんと考えていかなければなりません。様々な事業は、昔の村単位で動いてもらうことが多いですが、広い範囲で色んな事が協働でできないかなど、区同士の「緩やかなつながり」も大切と考えています。	
4	瑞穂	三ノ宮基幹集落センター	要望	地区には守るべき様々な伝承文化活動があるが、子どもが居らず、高齢者も多い状況の中、未来が見えず不安を抱えている。そのような状態で、若者に「三ノ宮に帰ってきて」とは胸を張って言えない。町はハード面についてはしっかりしてもらっていると思うが、若い人達の率直な意見を取り入れ町政に生かしていくなど、ソフト面でも行動していただきたい。	若者の意見をどうしたら聴くことができるか、またどんな方法があるか考えています。また、こちらから色々と発信していかなければならないと思っています。移住定住に関して言えば、「京の田舎暮らしナビゲーター〈丹3人、瑞4人、和4人〉」の活動と空きやバンクの充実を進める中、考えて行きたいと思っています。	
5	瑞穂	三ノ宮基幹集落センター	意見・提言	地区の公民館は避難所として指定されているが、耐震の対応ができていないため、地震災害のときは二次避難所（三ノ宮基幹集落センター）に行くこととなるが、移動が困難な方等を連れて行くにはどうすればいいかを考えている。	避難所に関しては、皆さんの意見を聴きながら考えていきたいと思っています。しかし、耐震への対応は一気に解決できないことをご理解いただきたいと思っています。避難時には、地区の中で近所の人に「一緒に逃げよかいな」などの声かけをしてもらうことが大切であると考えています。	消防団、民生児童委員、区長連携による町防災協議会を立ち上げ、要支援者の避難体制について充実を図っています。
6	瑞穂	三ノ宮基幹集落センター	意見・提言	きれいな所やいい場所がある地区は、良い方向でどんどん進むが、そうではない地区は、悪いところが見えると離れていられるなど、難しい問題である。	竹野地区の取り組みを参考にしてもらうなど、その地区に母体組織ができると取り組みがしやすくなると思いますし、振興会などが中心になって取組をお願いできたらと思います。	
7	瑞穂	三ノ宮基幹集落センター	意見・提言	地区で新しいことをやり始めると、以前から住んでいる方々に色々と言われる。年金が主な収入源であると生活は厳しいので、自分で生活費を賄えるだけの収入を得る方法を考えるべきだと思う。ここは、京阪神に近い場所に位置しているので、農産品を売るのでなく商品売ること考えたかどうか。	農家の方には生産に集中してもらえるように、新たに進めている地域商社において、生産物を預かって売ること考えています。この情報提供については地域商社で検討したいと考えています。	

No.	地区	会場	区分	質疑や要望等の内容	当日回答	補足等
8	和知	市場ふれあいプラザ	意見・提言	<p>昨年の豪雨災害では地域の方々をはじめ多くの方から支援をいただき感謝している。やはり小学校区を中心とした地域の結びつき、日頃の交流が大切であり、このことが災害への対応力をもった地域づくりにつながると感じた。</p> <p>高齢化が進む集落内においては、日常の健康管理も大きな課題である。声かけや見守りなどできる範囲で行っているが、いつまで継続できるか分からない状況の中で、健康管理におけるシステムづくりはできないだろうか。</p> <p>高齢者ドライバーの交通事故が多発しているが、自家用車は日常生活に欠かせない。移動手段の確保は大きな課題だろうと考えている。</p>	<p>昨年の災害時には地域力が人災を防ぐ大きな力であったと思っており、他の優良事例となるものと考えております。</p> <p>健康管理に係るシステムづくりや移動手段の確保については、現時点での施策は具体化していませんが、引き続き検討を重ねたいと思います。</p>	
9	和知	市場ふれあいプラザ	意見・提言	<p>避難のタイミングなどが区民に十分周知されていないと考え、防災研修会を開催していく予定である。</p> <p>サルによる農作物被害が多発しており、区民から捕獲の要請も出ている。難しい課題もあると思うが、行政と住民が協力してでも実施できるようなことがあれば聞いておきたい。</p>	<p>災害はいつ・どこで起こるか分からないので、避難するタイミング（避難スイッチ）など様々な機会において地域内で話し合いをしていただくことが大事であると考えています。</p> <p>当地区においては、先日捕獲檻を設置いたしました。捕獲に際して個体数調査の実施を進めています。他の地区では発信機を付けて個体の位置が受信できるような取り組みが進めておられますが、新たな方策も必要と考えています。</p> <p>下乙見区～市場・升谷区において、個体数は50数頭であると聞いております。先日設置した捕獲檻で子ザルを1頭捕獲できましたが、捕獲できる頭数は10%という制限もあるのが現状です。電気柵の設置や追い払い用火火などへの補助制度を設けておりますので、活用を検討いただきたいと思います。</p> <p>捕獲頭数は頭数把握とともに被害調査結果などを含めて、京都府専門会議で決定されます。</p>	
10	和知	市場ふれあいプラザ	質疑	<p>個体数の10%が捕獲できるとのことだが、その数値はいつの時点か。</p>	<p>京都府の計画で2年ごとに見直しを行っています。町として捕獲による駆除に関して要望を行っております。</p>	
11	和知	細谷共同集会所	意見・提言	<p>会場が畳席の場合、高齢者や女性が参加しにくいと思う。椅子席での開催を考慮はどうか。</p>	<p>検討いたします。</p>	
12	和知	細谷共同集会所	意見・提言	<p>有害鳥獣対策について、改善が目に見えない。抜本的対策をお願いしたい。この地域は、熊出没も多く出歩くのが怖い。</p>	<p>対策を実施してもなかなか実を結ぶに至らないのが現状。猟友会によりかなりの数の鹿を捕獲いただいているところ。一方、熊や猿は、保護獣でもあり駆除が難しい現状がある。地道に行っていくことをご理解いただきたいと思います。</p>	

No.	地区	会場	区分	質疑や要望等の内容	当日回答	補足等
13	和知	細谷共同集会所	意見・提言	災害復旧工事が仏主と細谷の林道で実施されていると思うが、原状に戻すということが復旧であるため、同じことが起きるのではないかと考える。災害に対応した工事にならないものか。	災害復旧工事は防災工事ではないが、災害が起こったままの状態では放置出来ないため復旧工事を行っている。災害場所が山であることから、コンクリート造り等を取り入れることは早急にはできない。繰り返すことになっても根気よく対応していくことでご理解いただきたいと考えています。	
14	和知	細谷共同集会所	意見・提言	山の家が閉鎖されたままとなっており、荒れて見苦しい状況となっているのが地元として残念である。なんとか開館できないものか。	最近のニーズへの対応等もあり、開館するには改修が必要であり、難しいというのが現状です。活用について検討いたします。	
15	和知	細谷共同集会所	意見・提言	熊出没に関する告知放送について、風評被害について懸念する。和知地区内全域で無く北部地域のみで足りると考える。	熊出没の告知放送は、午後7時以降、和知地区に限定して行っているが、北部地域のみというご意見があったことを担当に伝え検討いたします。	
16	和知	細谷共同集会所	質疑	北部5集落は、自然災害だけでなく原発の避難地域にも該当しており避難路が一本道のみでは不安であり、改善を願う。昨年、林道で対応を考えるという話を聞いたが現状と実現時期を問う。	避難路については、新規林道の開設に向け調査に入っています。今年度は測量・設計を行う予定です。完成時期は現時点では定かでない。町道の拡幅は難しいが、府道については京都府に要望をしています。	林道開設について、令和2年度からの実施を目指しております。
17	和知	和知ふれあいセンター	要望	サルへの対策について、京都府が群れの調査やアンケートもされたが、調査結果がフィードバックされていない。有効な対策等をフィードバックしてほしい。	サル被害については、特に和知で被害が多いので、庁内でも対策を検討もしています。調査については、30年度末に実施したものであり、現在まとめていると思われるので、結果について京都府に確認して地元にお返しをしたいと思います。サル対策については、大丹波連携で取り組んでいることを和知地区の中でも進めていきたいと考えており、和知地区に3つの群れには発信機を付けたサルがいるので、行動を把握し、農家の皆様に早めに情報提供できるような仕組みを研究していきます。防護柵としてはおじる用心棒という柵があります。通常、サルは支柱の電気が通電しない所を握り圍場へ侵入しますが、支柱にスプリングを設置して、支柱にも通電するようにした仕組みのものがありません。そうした柵も町農林漁業関係補助金の対象となりますので相談いただければと思います。	

No.	地区	会場	区分	質疑や要望等の内容	当日回答	補足等
18	和知	和知ふれあいセンター	質疑	<p>昨年発言したが、野良猫ネコの対策について、昨年度はどうしようもないと聞いたが、実態を把握されているのか聞きたい。本庄では住宅が6戸空いており、そこでネコが子供を産んで増えて困っている。全町的にそうした実態把握をされているか。</p> <p>また、その対策について、どうすればよいのか教えていただきたい。</p>	<p>町としても野良猫の対策に苦慮しています。以前は、飼えなくなった飼い猫について京都府が引き取りをしていましたが、平成25年に動物愛護管理法が改正され、飼い猫の終生飼養がより厳格化されたため、府の引き取り基準が厳しくなりました。</p> <p>基本的に数を減らす名案は無いが、むやみにエサを与えたりすることで、そこに集まり繁殖するとゆう悪循環が生まれるので、そうしたことへの注意喚起を促しています。実態の把握はできていませんが、述べました通り、住民の皆さんも注意いただくようお願いいたします。</p>	
19	和知	和知ふれあいセンター	意見・提言	<p>人形浄瑠璃に援助をいただき感謝している。以前から交流のあった淡路に中学生と一緒にいくことが実現でき、子供たちも技術を学んでくると思っています。人形浄瑠璃会からお礼を申し上げます。</p>	<p>昨年は先方から来ていただきました。人形浄瑠璃会長の熱い思いがあり、それが実現でき、感謝いただいていることに私も喜んでおります。</p> <p>次の担い手をどうするのか悩んでおられましたが、小学校・中学校で地元の伝統文化を学ぶ機会をつくり、地道な活動を続けていただいております。</p> <p>子供たちが地元の伝統文化を体験・学ぶことが大切と考えておりますので、今後ともよろしく願いいたします。</p>	
20	和知	和知ふれあいセンター	質疑	<p>新たな森林管理システムについてお伺いするが、生産森林組合の経営が成り立っていないので、生産森林組合の山も町で預かってもらうことは出来るのか。</p>	<p>生産森林組合が森林所有者として町に経営管理を委託できるかどうかについては、「組合員が自ら労働を投下して森林生産活動を行うものである」という生産森林組合制度の趣旨等から新たな森林管理システム（森林経営管理制度）の対象外となります。</p>	
21	和知	和知ふれあいセンター	要望	<p>空き家や区外の方の所有土地について、草刈をしていただけない事例があり、区から依頼をするが揉めるケースもある。区には、権限もなことから、町のほうから行政指導してもらえないか。</p>	<p>現在の取り組みとしては、環境条例に基づき土地所有者に対して指導することが出来るので相談いただきたいです。</p>	
22	和知	広野公民館	要望	<p>水路に砂利が溜まり堆積している。台風で大水が出ると、下流に流れてきて、災害が発生する危険がある。その砂利を誰が除去するのか、個人では限界がある。</p>	<p>担当者が確認させていただきます。</p>	

令和元年度町政懇談会『タウンミーティング』まとめ

【地域の状況等について】

No.	地区	会場	区分	質疑や要望等の内容	当日回答	補足等
23	和知	広野公民館	要望	がん封じ寺として長源寺は、全国から参拝に来られるが和知駅にタクシーがない。和知駅に小さな紙で事業者に依頼すれば町外の人も乗れると書いてあったが、わかりやすいように大きく掲示してほしい。 和知町内を観光しようとする移動手段が必要となる。車がない人への対応をお願いする。	わかりやすい表示をしてもらうように事業者にお願ひさせていただきます。	
24	和知	広野公民館	要望	がん封じの観音祭りを毎年7月第1日曜日に行う。毎年消防の行事と重なり若い人は消防に出席されるので、第1日曜日はずしてほしい。	操法大会がある年は6月下旬に行い、夏季訓練の年は7月第1日曜日に行っています。地域の行事との調整は行っていませんが、年度当初に行事予定を報告をしています。調整ができればと思いますが、消防団の行事ですのでご協力をお願いさせていただきます。	
25	和知	広野公民館	要望	国土交通省が2年に1回国道27号線沿いの草刈をしてくれているが、それでは草が生い茂り「さびれた町」となっている。才原区では年2回誰も手をつけない国道の法面を刈っているが、高齢化で困難な状況となってきた。味方にある事務所に区から要望に行き、数年は刈り草の撤去をもらったが、ここ数年それもしてもらえてない。町から国土交通省に草刈のお願いしてもらいたい。	地元から草刈をしてもらいたい場所を明示した要望書を町が進達すると効果があるようです。要望書の様式があるのでお渡しさせていただき、ご相談させていただきます。	
26	和知	広野公民館	要望	府道・町道についても上の方まで刈ってほしい。	要望どおりに対応することは困難と考えますが、相談をさせていただきます。	
27	和知	広野公民館	要望	大簾の府道は木の枝が道まで出てきて、町営バスが避けて通っているような状況である。たくさんの枝を個人で伐採するのは困難なので、伐採を京都府にお願いしてほしい。	現場を確認させていただき、府に要望をさせていただきます。】 区に土地の持ち主に了承を取っていただくなど、ご協力をお願いすることもございます。	
28	丹波	竹野地区基幹集落センター	要望	人口減少対策は、移住対策以外にない。竹野地区では、平成28年度から17家庭、53人、児童5人、幼児14人のIターン、Uターンがある。 しかし、4月以降、移住の照会はない。特区等で新たな優遇措置として、また、危機管理や防災上の観点から、CATV加入分担金の減免ができないか。 3歳児が保育所に入れないという実態も聞いており、空き家のことも含め、様々なことをしないと移住者を受け入れることはできない。 町全体の人口の状況の資料はいただいているが、地域ごとの資料も提示してほしい。	竹野小学校に、地域の皆さんが関心を持っていただいていることに感謝します。 CATV加入分担金については、公平性の確保や新たな制度づくりが必要であり、CATV全体の中で検討していく。移住等の様々なことについては、にぎわい創生課で調整させていただきます。 今後、地域に必要な資料の提供を検討します。	

令和元年度町政懇談会『タウンミーティング』まとめ

【地域の状況等について】

No.	地区	会場	区分	質疑や要望等の内容	当日回答	補足等
29	丹波	竹野地区基幹集落センター	要望	移住対策の取り組みを行っていないければ、竹野小学校の児童数は減少し、複々式学級になっていたかもしれない。今後、Uターンや孫ターンへの支援も検討していただきたい。にぎわい創生課から町営住宅の空き状況や求人情報等についても、情報提供いただきたい。	竹野小学校の児童数が増加しているなど、竹野地区活性化委員会での取り組みに敬意を表します。Uターン、孫ターンについては、にぎわい創生課の中に移住定住推進係も設置したので、どのような支援ができるか考えて参ります。	
30	丹波	竹野地区基幹集落センター	意見・提言	竹野小学校児童の通学の見守り等を通じて、子どもたちとつながり、元気をもらっている。学校を核として、人と人がつながっており、800人規模の学校から移住された方からも、竹野に来てよかったという声もいただいている。自分の生きがいづくりとして、学校に俳句を送っている。	登校時だけでなく、下校時にも見守りをいただいております。防犯上の効果も大きいと思います。地域全体で学校を盛り上げていただいていることに感謝します。学校や子どもたちのことで地域が元気になっているということをお聞きしうれしく思います。充実した人生を送りたい、人に役立つ活動をしたいということは、まさしく生涯学習であり、教育委員会としても支援していきたいです。	
31	丹波	中央公民館	要望	須知区の一次避難所は耐震強度がない旧須知小学校となっている。また、避難所はハザードマップ上で一部警戒区域となっている。このため、二次避難所の文化センターと公民館に避難するよう区民に呼び掛けている。しかし、収容人数にも限りがある。旧須知小に避難するならば耐震化するなど早急な対応をお願いしたい。出来れば、二次避難所の健康管理センターが良い。	今後、区民の皆様の意見を聞きながら、現状に即した避難場所を検討したい。一次避難所には職員を2名配置しているが、今後は、一次避難所及び二次避難所と併せて検討いたします。	一時避難所を須知公民館、健康管理センター、須知文化センターの3か所に変更しています
32	丹波	富田公民館	質疑	昨年府道豊田富田線拡幅について、富田、豊田、上豊田区長連名で京都府に対し町を経由して要望をしたが回答がないので進捗を伝えてほしい。	昨年区長さんから連名で要望書を提出いただき、府に進達していますが、京都府から正式には状況を聞いておりません。	
33	丹波	富田公民館	要望	上豊田地内の開発した土地に下水道が敷設され、舗装が荒れており、舗装をやり直してほしい。	丹波地区に限らず管を敷設すると沈下することから、通常は管を入れた次年度に舗装をしています。財政的に厳しく、ひどいところから対応してまいります。	
34	丹波	富田公民館	意見・提言	富田区では、府道の拡幅を協議した思いはなく、道というのは利用するものよりも、住んでいる地域のものでどういうふうにとらえるかの問題と思う。拡幅することでリスクも増えるし、要望は地域のトップからではなく下から上がってくるものだと思う。	町側からすれば、要望書ができてきたら、地域内の課題は解決されているものと理解させていただくしかないと思います。地元でも再検討していただきますようお願いいたします。	

No.	地区	会場	区分	質疑や要望等の内容	当日回答	補足等
35	丹波	富田公民館	要望	府道の拡幅について、これまで事故がなかったのは、道が狭いため皆さんが注意して走行をしていたためと思う。そこを拡幅すると交通量も増えるしスピードもアップする。事故が無いところをあえて拡幅する必要があるのか、担当課や京都府において配慮を賜りたい。	発言いただいたことも踏まえ調整いたします。	
36	丹波	富田公民館	意見・提言	去年の富田区の組長集会で拡幅のことについて賛成をしてもらっている。区長だけで出したものではない。近所のたんぼ付近の了解も必要なのでそのときには協力いただくよう頼んでいる。住んでおられる家が怖い目にあっている。スピードが上がるかもしれないが、交通違反のことであって、私は道を真直ぐにしてもらった方が良いと思う。 昨年この場で、丹波地区の都市計画マスタープランが出来ており最終年度が平成38年度である。このマスタープランによると歩行者空間にするとマスタープランに出ていた。歩行者空間にするということは、通過交通を排除するもので、現状広くしたり狭くしたりする必要はないのではないか。	昨年のタウンミーティングで富田胡麻停車場線について、全体的に拡幅計画があるのかと言われましたが、局部的にカーブの改修を実施していますと回答いたしました。その後、全体的な拡幅は実施されていません。こちらの府道豊田富田線につきましても、用地を提供される地権者さんの協力があった拡幅工事が進んでいくものだと思いますので、地元で色々と意見が出ているようですが、地元でうまくまとめていただきたい。それをもって町は、京都府に要望をしていきたいと考えます。	
37	丹波	富田公民館	意見・提言	要望には、豊田富田線のプールから豊田縄手の豊田の横は入っていません。	承知しております。	
38	丹波	富田公民館	意見・提言	自然災害が発生したときに救急車が走れないこともあり、新庁舎が出来るのであれば、ヘリポートを造ってはどうか。	ヘリポートの必要性というのは感じています。広い場所があれば出来るが水撒きなど必要です。議会でも庁舎横にヘリポートが出来ないかということでありましたが、人が多いところには危険なので、別の場所でヘリポート整備に向け検討いたします。	
39	丹波	富田公民館	質疑	農地水環境保全対策、多面的機能支払い交付金制度の実施団体に関わっており、今年度府の会計検査があった。交付金をもらって農道の舗装等実施し、受益者には好評をいただいている。 豊田地内においてはたんぼの中を走っている町道がかなりあるが、舗装されていない。京都府の検査で交付金は町府国が維持管理する施設には使えないと指摘されたので、舗装がされていない町道については、どのような対応をもらえるか。	住宅の中を走っている町道についても痛みがひどくなっているため、限られた財源の中で、優先順位を決めながら対応いたします。	

No.	地区	会場	区分	質疑や要望等の内容	当日回答	補足等
40	丹波	富田公民館	要望	豊田区では昨年度から川刈りを中止している。町に出した要望の回答では、地元で対応してくださいというものであった。川刈りをした場合、区のグループなどに補助金を出していただくことを検討してもらえないか。	以前から要望等を出していただいております。川刈りが出来ないということについて、それを全て町で行うことはできません。 京都府の管理河川につきましては、京都府からの補助金を地元で実施される面積等に応じて、予算の範囲内で支払っているのが現状です。府の河川につきましては、刈ってほしいということであれば京都府へお願いすることになります。今後、町の管理分も含め改善が必要と考えています。区の団体に対しては直接支払いができませんので、区で調整いただきますようお願いいたします。	川刈りについては、多くの集落については、ボランティアでの取り組みが多く、参加者が減少している。その中で、実施いただける人や、地域の関係団体に対し、町から支払う謝礼の中から費用弁償していただくとか工夫して取り組んでいるところもあり、可能な人材で、可能な範囲をご協力願っています。
41	丹波	下山集会所	要望	少子高齢化により5年後10年後の心配をしている。区の行事である川刈りも困難な状況。区内の若者が減ってきている。区の様々な役員を担うことが原因ではないかと思っている。人口減少に転じている今、寺や神社、土地改良区総代など公的な役員の数は、昔と比べて減ってきているのか。いろいろな側面から見してほしい。草刈作業は特別出夫として手当を出している。イベントなどに町外から若い方が来られるが、そういった作業についても連携して応援してほしい。お金だけではなく地域を好きになっていただける方に呼びかけている。	川刈りの問題は他の地域でも伺っています。どことも全員参加は難しい状況。若い人の集まりや消防団などに委託をして草刈をされているところもあるようです。すべて町で刈り取ってほしいという意見もありますが、難しいと考えており、いろいろと工夫しながら進めていただきたい。若い方には役の負担感があり、役の意義もわからないと思います。昔どおりの運営を変えていかなければならないと思います。人口が減る中で、課の体制も整えて移住定住にしっかり取り組んでいます。今年は、京の田舎暮らしナビゲーター11人を登録しました。和知では満遍なく、瑞穂は3地区、丹波では竹野で2人登録している。丹波地区の竹野はかなり取り組んでいて、児童数が何年か先まで増える予定と聞いています。このようにうまくいっている取組が町内に広がればと考えています。空き家バンクもやっていますが、なかなか物件の登録が進みませんので、そのあたりもしっかり取り組んでいきたいと思います。どこの自治体も移住定住に取り組んでいますが、木津川市や京田辺市では人口が増えています。京都市でさえ人口減少に落ち込んでいる状況です。東京一極集中の形になっているので、町内の学生が東京へ行く前に地域のことをしっかりと理解し、Uターン等につながるよう、須知高校で行われている「京丹波学」の学習などにも協力するなか進めております。	

No.	地区	会場	区分	質疑や要望等の内容	当日回答	補足等
42	丹波	下山集会所	意見・提言	高齢者の重大事故が多く、免許返納制度に取り組まれているが、返納数はどれくらいあるか。 1万円の券はJRバスと町営バスとに使用できるのか。 地元の返納者の話では、不便で仕方がないとのこと。返したくても返せない状況である。今後、高齢者増えるが何か手立てはないのか。和知には認可を受けたサービスがあるが、丹波は京都タクシーがあるため取り組めない。たとえば、地域で運転手を確保し、好きなときに送迎できるような取組はできないのか。高齢者が安心して免許証が返納できる環境にしてほしい。	自主返納は29年度63名、30年度55名、令和元年度6月末現在で18名の返納があります。 1万円の券はJRバスと町営バスとに使用できます。 丹波はJRバスと京都タクシーとの絡みで難しいと考えます。このことは、公共交通の話し合いで検討しています。京丹後市ではインターネットを活用した取組を行っていると聞いており、町でも検討していますがすぐに取り入れられるものではありません。将来的には自動運転にも期待しますが、それまでに何か対策をしていかなければならないと考えております。	運転免許証自主返納は、29年度63名、30年度55名、令和元年度6月末で18名の返納がありました。 自主返納の特典として、JRバスと町営バスで使用できる路線バス利用券をお渡ししています。 和知地域では、公共交通空白地有償運送が認められ、NPO法人が運行をされています。他の地域でも同様の運行を実施するには、JRバスや京都タクシーが運行されている現状があることから難しいと考えます。 このことは、公共交通の話し会の中で検討しています。京丹後市ではインターネットを活用した取組を行っていると聞いており、町でも検討していますが、すぐに取り入れられるものではありません。将来的には自動運転にも期待しますが、それまでに何か対策をしていかなければならないと考えております。
43	丹波	下山集会所	意見・提言	有害鳥獣対策事業において、新規で鳥獣撃退器の実証実験があがっているが、2年前に同じような事業で機器を借り受け、半年以上測定調査して記録を出したが、効果があったのかなど結果を聞いていない。結果がよかったから、新たな事業として取り組まれるのか。 検証結果がわからないので意義があったかどうかもわからない。財政難の中で予算化されるのであれば、しっかりとした結果やフォローが必要。	2. 3年前にモニター募集しアンケートにも協力いただいたが、詳しい分析はできておりません。この間に新しく改良された撃退器も出たことから、新たな試みで50台予算化しております。皆さんに使っていただき効果があればよいと考えています。 効果はあったと思うが、アンケート結果を分析せずモニターの皆様に回答できていないことについては、反省すべきところですが、今年の50台についてはしっかりと対応したいと考えております。	効果があつた旨の報告が寄せられたが、周辺の作物や撃退器の設置状況や管理状態により効果が認められない意見もありました。一部に故障も見られ今後改善が必要な案件もありました。
44	丹波	下山集会所	要望	当区では住宅街に山水が流れるところがある。大雨のときは住民が心配し不安に思っている。先般、町職員に来てもらい、住民と確認したが、広い範囲から水が集まっており、個人では対応できない。すぐにどうこうは言わないが、行政や国の力で対応していただきたい。要望であり、要望書は提出させていただく。災害対策の一面として水が出ない対策をお願いしたい。	この件については伺っているが、もう少し調査をさせていただき、その中でできる方法を検討していきたい。一緒に考えさせていただきたいです。	

令和元年度町政懇談会『タウンミーティング』まとめ

3. 町への 質疑、意見・提言、要望 等

全 62 件

令和元年7月2日 ～8月8日 実施【12会場】

No.	地区	会場	区分	提言、質疑、要望等の内容	当日回答	補足等
1	瑞穂	山村開発センター	意見・提言	須知高校の活性化推進のための予算をつけてもらっているが、生徒数の減少という課題がある。以前にも提言したが、広大な土地を活かして府立高校の音楽科ができないかと思う。更に生徒や教員の宿舎を造り、地域の発展につなげられたらと考える。	歴史と伝統のある須知高校ですが、生徒数の減少という課題解決と学校の存続に向けて力を注いでいるところです。いただいたご提言は、所管の京都府教育委員会に伝えていきます。 来年度から、ホッケー入部者に特化して、他府県からも生徒募集を予定しています。その生徒の下宿先を求めて、町内の皆さんへ協力依頼のご案内をさせていただいたところです。また、わが町の食と農に関わる学習として、地域の方に学ぶという取り組みにも力を入れているところです。	
2	瑞穂	山村開発センター	意見・提言	グリーンランドみずほのホッケー場夜間照明工事が発注されたが、周辺施設であるレストランや宿泊所等の老朽化が進んでいる。選手等集客するには、宿泊所等の維持管理や充実を図っていくべきではないか。	コテージなどで使用できないところもありますが、修繕の準備をしています。経営状況も厳しいところですが、私も指定管理者の社長の立場として、対処していきたいと考えています。	
3	瑞穂	山村開発センター	質疑	京丹波町に来て10年。静かな土地を求めて来ました。当時の人口は17,000人だったが、14,000人ほどになってきている状況です。移住定住対策を推進しているが、数値目標はあるか。	明確な数値目標は定めておりません。空き家は多いですが、現状として活用できる空き家は少ないところです。今後数値目標を共有していきたいと思います。平成27年に人口ビジョンと創生戦略を策定しており、何もしなければ(2060年には5,500人程度にまで)成り行きに減少するところを、移住定住を含めあらゆる施策の推進により、2040年には1万人程度、2060年には8,100人程度の人口規模を目指すこととしています。	
4	瑞穂	山村開発センター	質疑	空き家バンク制度があるが、仕事が無いため移住定住はあまり進まないのではないか。	企業誘致も進めていますが、その会社に町民や移住者が入社されない現実もあります。	
5	瑞穂	山村開発センター	意見・提言	納税の夜間窓口は、滞納対策か。町民の利便性が目的か。成果はどうか。利用者数はどうか。自動振替をもっと推奨したほうが良いのではないか。	納税しやすくように始めましたが、実績としては少ないようです。今は、コンビニ納付が増えてきています。自動振替の推奨については、職員に徹底していきたいと思います。	
6	瑞穂	山村開発センター	意見・提言	瑞穂町土地改良区の決算書を見ると、組合員に使うはずの経常賦課金が、係争費用に大部分が使われていることを聞き、納得がいかないと感じている。今後、土地改良区のあり方も考えてもらえないか。	私も土地改良区の役員、そして京都府土地改良区の理事もしております。係争費用つまり裁判費用ですが、瑞穂地区の事案は、最高裁まで行っており経費がかかっています。争点である「土地改良区の賦課金が取れない」という判決になると、土地改良区運営の根幹に関わる問題になります。裁判費用について京都府土地改良連合会から支援いただくようお願いしています。	
7	瑞穂	梅田振興センター	質疑	ある高校では地域外から生徒を募集しているのと引き上げられているが、須知高校ではそういった取組はあるか。	来年度に向け、ホッケーに限った全国募集が進められています。現在、生徒の下宿先等を検討しています。	

No.	地区	会場	区分	提言、質疑、要望等の内容	当日回答	補足等
8	瑞穂	梅田振興センター	質疑	ふるさと納税について、現在どのくらい実績があるか教えてほしい。また、自主財源として確保していく考えはあるか。	昨年の実績は約1,600万円でした。また、多い年は2,500万円となっています。 ふるさと納税については、縁のある「ふるさと」に納税をするのが本来の趣旨ですが、現状は返礼品のよい町に多く集まっている。今後、地域商社の立ち上げも検討しつつ返礼品という部分でもアピールしていきたい。また、新庁舎建築への寄付についても声を上げていくなど、しっかりと取り組んでいきたいと考えています。	
9	瑞穂	梅田振興センター	要望	ときめきツアーの参加対象年齢を65歳ぐらいまでに上げていただきたい。	ときめきツアーの実施は観光協会にお願いしています。地方創生や定住対策に有効なので、にぎわい創生課とも連携して企画していただきます。	
10	瑞穂	梅田振興センター	要望	CATVについて、加入者数と予算額を教えてください。番組等が見たいときに見られるようにユーチューブのようにならないか。また、瑞穂地区は早期にCATVを整備されたことから和知・丹波地区に比べインターネットにつながるのが遅い。こうした事を根本的に見直す考えは無いのか。町からいろんな広報誌が出ている。CATVで選んで見ることができないか。CATVで災害情報等の提供はできないか。また、その内容を他国語で提供できないか。	加入者は約6,500戸で、予算は年間約2億円である。事業の経過として瑞穂地区から始まっており、後から和知・丹波を整備いたしました。インターネットの技術は年々技術革新されているので、少しご不便をおかけしております。その解消に向けて審議会を設けて、どういう方法がよいか審議いただいております。 議会の中継等はインターネットが主流になってきています。確かにユーチューブにすれば見たいときに見られるという利点がありますが、まずはインターネットの環境を考えなければいけません。その点も含めて審議会で審議いただいているところです。避難情報等は、いろんな情報の提供の仕方を考えていかなければならないと考えています。京丹波町にも多くの外国人の方が住んでおられ、そういう方にはインターネットを活用した情報提供が有効であると考えています。広報誌等については、インターネット等が使えない方もおられるので紙で提供しておりますが、今後実態にあわせ検討が必要と考えております。	
11	瑞穂	三ノ宮基幹集落センター	要望	民生委員の推薦を頼まれるが、仕事内容も相談する部署もわからない状態で、非常に難儀している。区域も含めてもう少し臨機応変に対処できないか考えてもらいたい。	民生委員の推薦は様々な調整があり、2区で1人や区域が広いため1区で2人などの推薦をしていただくこともあります。今後、保健福祉課で検討いたします。	民生委員は国及び府の配置・定数基準に基づき区域を設定し配置しております。こうした世帯数の配置基準をもとに、地域の実情に鑑み、今後においては区域の見直し等も必要になってくる場合があると考えております。

No.	地区	会場	区分	提言、質疑、要望等の内容	当日回答	補足等
12	瑞穂	三ノ宮基幹集落センター	質疑	高齢者は自動車に乗れなかったらどこにも行けない。バスの本数も少ない中で、免許返納をしたらどうなるのか。	田舎では、自動車を運転することは重要で不可欠であることは認識しています。高齢者に免許更新がしやすいように南丹市と共に考え、園部の教習所で高齢者運転講習が受講できるようにいたしました。 一方、運転免許自主返納に関しても対応していますが、何とか町営バスの利用で対応していただきたいと思っています。 一番困っておられるのは、通院や買い物であると思いますので、他の交通手段も含めて交通対策が必要と考えております。	
13	瑞穂	三ノ宮基幹集落センター	意見・提言	サルの被害が増えており、鹿の被害なども併せて有害鳥獣駆除対策を更に考える必要がある。	有害鳥獣対策には撃退機を導入して活用いただきたいと考えています。また、サルの群れに関しては大丹波連携（福知山市、南丹市、丹波篠山市、京丹波町）において広域的な取組も行っています。	
14	瑞穂	三ノ宮基幹集落センター	要望	猪鼻の運動場の草引きが大変であり、グラウンド整備の機械を貸してもらえないか。	スポーツトラクターの貸出し（社会教育課）については検討します。	学校及び社会教育施設の整備用として導入しております。現在の使用状況等から、貸し出しは困難と考えますので、ご了承願います。
15	瑞穂	三ノ宮基幹集落センター	意見・提言	猪鼻区において同じ場所で2回鹿の死骸の処理、町道の蜂の巣駆除を瑞穂支所に依頼したら素早い対応をしてもらい、大変ありがたく感謝している。	-	
16	瑞穂	三ノ宮基幹集落センター	意見・提言	人口減少は子どもの数を増やす必要があるため、婚活事業は南丹市、亀岡市、福知山市、綾部市などの近隣市町と一緒にしてみてもどうか。	婚活は観光協会で行っておりますが、広く参加いただけるよう実施しています。人口対策は地方創生においても重要で、しっかりと進めなければならないと考えております。	
17	瑞穂	質美振興センター	要望	町内に耐震構造でない建物が多くある。自宅横の町有倉庫は管理ができていない状態である。大きな建物だけでなく、このような小さな管理もお願いしたい。	公共施設管理計画に基づいて管理しています。 老朽施設については、順に撤去しております。	
18	瑞穂	質美振興センター	質疑	町営住宅質美団地は空いた状態が続いている。募集しているのか。	募集していますが応募がなく、その結果、空いた状態となっております。	
19	瑞穂	質美振興センター	質疑	昨年の台風21号で3日ほど停電した。避難情報など告知放送で連絡を受けられない状態であった。そういうときの連絡手段などどうなるのか。	他の地域でも大規模停電が発生。同時に関西電力のホームページに不具合が生じて情報が引き出せない状態となりました。関西電力と京都府、市町村で協議する場があり、その中で関西電力も対応する態勢をとることとなりました。告知放送が使えない状況となった場合は、消防団にお世話になるなどによりお知らせしてまいります。災害情報の伝達方法については今後検討いたします。	

No.	地区	会場	区分	提言、質疑、要望等の内容	当日回答	補足等
20	瑞穂	質美振興センター	質疑	本年度予算は、昨年度に比べ約3億5千万円の増額。個々に見ると、総務費、教育費などは増額で、一方で、農林水産業費は約4億3千万円という大きな減額。この減額をどのように理解すればよいか。 農協の体制が変わった。農業が減退しないように、農業の活性化に向けた予算を組んでほしい。	農林水産業費の大きな減額は、畜産関係整備に対する国からの交付金をそのまま交付する畜産クラスター事業が平成30年度に3億3千万円あったことが主な理由です。厳しい財政の中で住民サービスを低下させないように、重点施策に予算配分していくことになります。 農協の件は、影響が出ないように話し合いたいと思っています。農協は、農業は基幹産業として、その振興は重要であると考えています。	
21	瑞穂	質美振興センター	質疑	ケーブルテレビインターネットの接続速度が非常に遅い。それを理由に若者が町外へ出ていったと聞いた。状況を教えてほしい。	インターネットは、最初にケーブルテレビを整備した瑞穂地区では家まで光ケーブルでつながっていないため、接続速度が遅い状況です。大きな課題であると認識しており、ケーブルテレビの今後のあり方を検討いただく審議会を設置して、今年度中に答申を受ける予定です。かなりコストがかり、通信技術の進歩もめまぐるしい中で、民営化も含めて検討していきます。	インターネット環境を含むCATVのあり方について、審議会から「民営化へ移行することが妥当である」との答申を踏まえ、CATVの民営化に向けて推進してまいります。
22	瑞穂	質美振興センター	質疑	須知高校活性化の取り組み状況は。	府立高校のあり方が協議された結果、南丹地域の学校は引き続き残ることになりました。その中で、生徒の増加に向けて須知高校では、ホッケー競技をする生徒を全国から募集できるようになり、下宿、食事など受け入れ態勢の検討を進めています。隣の丹波篠山市からもホッケー経験者に入学してもらえるように取り組んでいます。	
23	瑞穂	質美振興センター	要望	北久保から府道に出るとき、交差点下山側に柿の木、キウイの木があって見通しが悪いので対応できないか。	民地であれば難しいと思いますが、現場を確認します。	府道拡幅計画があり、拡幅により解消される予定となっています。
24	瑞穂	質美振興センター	要望	町営住宅入居者が募集されたら現地を見に来る人もあるだろう。現状では草が生えており、幻滅して帰られると思う。常に管理されるように要望する。	注意を払って管理していきます。	
25	瑞穂	質美振興センター	要望	若い町職員と雑談したが、質美のことをまったく知らない様子だった。町外在住でケーブルテレビも見ることがないようだ。町職員にも地元を知る機会を与えてほしい。	新規採用時に町内を回りますが、そのあとは各職員が自主的に学習する必要があると考えます。旧町を越えて地域を知ることができるように職員教育をしっかり行います。	
26	瑞穂	質美振興センター	要望	質美と富田を結ぶ町道七山線が、昨年の豪雨で荒れた。質美側は碎石の支給を受け地元で復旧し管理しているが、富田側は車が通行できない状態である。舗装までは求めないが、走行できるように復旧できないか。	峠から富田側の路肩が崩壊した箇所は、近く災害復旧工事を発注します。舗装の計画はありません。従来どおり碎石支給で対応いただきたいと思います。現場の状況を確認します。	本年度12月に路面補修を実施しました。

No.	地区	会場	区分	提言、質疑、要望等の内容	当日回答	補足等
27	瑞穂	質美振興センター	意見・提言	人口増に向けて、移住やUターンなどを増やす必要があるが、ネックとなっているのがインターネット環境である。京都府内では京丹波町を含む2町村だけが整っていない状況でインターネットで仕事ができない。停電時には、告知放送が使えない。	現在のケーブルテレビ事業の計画時には、このような情報通信環境の変化は想定していなかったと思いますが、このような社会となった以上、これに対応するように審議会で検討いただくこととしています。停電時の連絡手段として、普及状況とコストから見ればスマホを使うことも対策の一つと考えられます。これもインターネット環境に含めて検討します。	インターネット環境を含むCATVのあり方について、審議会から「民営化へ移行することが妥当である」との答申を踏まえ、CATVの民営化に向けて推進してまいります。
28	瑞穂	質美振興センター	意見・提言	先ほど町長から停電時のスマホ活用についての話があったが、携帯電話アンテナ施設の蓄電に限界がある。私が使う携帯電話通信施設の場合、6時間で圏外になったので報告しておく。	-	
29	瑞穂	質美振興センター	要望	JR西日本が園部以北でICOCA（交通系ICカード）が使えるように整備すると発表したが発表したが、町内の4駅は依然使えない。町がお金を出さずに整備してほしい。	JR西日本本社へ南丹市と共に要望に出向きましたが、南丹市域しか実現しませんでした。日吉駅や胡麻駅は、1日の乗降者数が和知駅・下山駅の2～3倍で、それも影響しているのかもしれない。引き続き要望してまいります。	
30	瑞穂	質美振興センター	要望	町職員にそれぞれ事情はあると思うが、結婚などを機に近隣市に移り通勤している町職員が、なぜ居住地に京丹波町を選ばなかったのか、その理由に移住対策のヒントがあると思う。その理由や、外からの視点で感じているものを聞いて参考にすべき。	理由があつてのことと思いますので、調査したいと思います。	
31	瑞穂	質美振興センター	質疑	ロケ地誘致事業として、鳥インフルエンザ跡地を活用して展開することは賛成である。しかし、質美の八幡宮や旧保育所を使ったが、映画が完成しても見て終わり、ロケ誘致によって地域活性化することが具体的に見えてこない。これまでは地元が直接やり取りし、映画ロケやテレビ取材に対応してきた。それがロケーションオフィスが入ることで負担などが生じてきた。 映画ロケがあつて完成したで終わらずに、その後、ロケ地をどのように観光振興につなげるかというロケツーリズムが大事である。今回、ロケ地を開放し案内したのは私たちボランティアであった。このようなことに取り組むのがロケ地誘致事業ではないかと思う。今後この事業をどのように展開するのか。	ロケ中は秘密ですが、公開になると写真の使用が許可されます。写真などの権利関係を整理するためにロケーションオフィスは必要であると思いますし、ロケ後の展開、盛り上がり期待します。	映画「あの日のオルガン」に係るロケ地の開放等ボランティアの皆さんには、多大なご協力をお世話になりました。今後も地元の方のご協力は欠かせないものと思っており、ロケーションオフィスと連携を密にして取り組んでまいりますので、ご理解ご協力をお願い申し上げます。

No.	地区	会場	区分	提言、質疑、要望等の内容	当日回答	補足等
32	瑞穂	質美振興センター	要望	図書館について、その必要性はわからない人も多いと思うが、町外から移り住んだ人には、あって当たり前の施設である。大きな建物ではなく、まず小さくても公民館図書室で中身を充実させていって、図書館法をクリアするなど、町民が集えて勉強できる文化施設の整備をお願いしたい。質美の図書室を旧質美小学校に移設して、より開かれた大きな図書室とすることの要望を教育委員会に出しているが、実現できるのか。	図書館は、子育て支援や人口対策において重要な施設だと思います。新庁舎と一緒に整備できればよかったです。まずは新庁舎の中に自習や読書ができる場所を作ることになりました。新庁舎、認定こども園がある中で、今後考えていきます。予算は調査のためのものです。質美公民館図書室の移設については、地元意向が確認できたので、それに向けて検討していくと教育長から報告を受けています。	質美公民館図書室の旧質美小学校への移転先の場所（教室）について、質美笑楽講運営委員会と今後調整を行い、検討していきたい。
33	瑞穂	質美振興センター	要望	防災体制の強化を図るということだが、新入団員への長靴支給がなくなった。最近は、台風、豪雨の水防対応で出勤する機会が増えたため、新入団時の1回限りでよいので支給してほしい。	長靴から編上活動靴の支給に変わりました。消防団運営費として、年間一人当たり6千円を支給していますので、それにより購入願います。	
34	和知	市場ふれあいプラザ	意見・提言	町職員のうち町内居住と町外居住の方があると思うが、町内に働く事業所も少なくなる中で、町内在住者に限った採用はできないか。	現状3分の1の職員が町外居住となっています。傾向として結婚を機に家族の都合等で町外転出する職員もありますが、町外から採用することで町内に居住する者もあります。本件については、他会場でも質問があり、町内に住まない理由を把握することも人口減少対策には必要との意見もいただいています。職員にはふるさと納税制度などによる協力をお願いしているところです。	
35	和知	市場ふれあいプラザ	意見・提言	将来教育者となって町内で活躍してもらえるよう、教育的な視点から学力向上や郷土愛の育成など取り組みを進められないか。	教育委員会として、児童生徒にはまず町内のことを知ることを重点に、ふるさと学習に力をいれているところです。このことが将来的に、ふるさとを守ることにつながるものと考えており、町全体を学びの場ととらえているところです。	
36	和知	市場ふれあいプラザ	質疑	少子高齢化の中で、自分の世代では何とか田畑や山林を維持しているが、将来にわたってはどうか不安である。町としての考えはあるか。	山林については対応可能な制度も創設されていますが、田畑に関しては個人で所有していかなければならないので、地域内で検討をいただきながら、皆さんと一緒に考えたいと思います。	地域における農地維持のため、「京力農場プラン」作成等を推進し、また、農地中管理事業による農地集積や集落営農組織の強化などあらゆる対策を進めることで農地維持に繋がりたいと考えます。
37	和知	市場ふれあいプラザ	要望	災害対応等財政厳しい中ではあるが、町道市場上ノ山線の継続実施を要望する。	現状土地取得に時間を要していますが、進めていきたいと思っています。	令和元年度に引き続き、令和2年度も工事を発注する予定としています。

令和元年度町政懇談会『タウンミーティング』まとめ

【町への 質疑、意見・提言、要望】

No.	地区	会場	区分	提言、質疑、要望等の内容	当日回答	補足等
38	和知	市場ふれあいプラザ	要望	避難所となっている篠原体育館のトイレを洗浄付便座に改修してもらいたい。	現状は理解しています。検討したいと思います。	一時避難所を和知ふれあいセンターへ変更いたしました。
39	和知	市場ふれあいプラザ	要望	本年のゴールデンウィークのゴミ収集に関し、報道等でも取り上げられたが、長期間にわたって収集が行われないことがないようにお願いしたい。	従前の例により実施しなかったものでありますが、やはり住民側の視点による配慮も必要であったと思いますので、反省すべき点は検証し、改善していくべきと考えております。	令和元年は、衛生管理組合が12月30日に臨時の対応として、可燃ごみの収集を行いました。
40	和知	細谷共同集会所	質疑	上下水道課からのアンケート実施についてなぜこの時期にされたか真意を伺いたい。内容から値上げとなるのではと懸念している。	水道事業経営は、給水件数の減少等により経営状態はますます厳しくなることから、国において平成25年に新水道ビジョンが策定され、京都府においても昨年策定されました。本町においても水道事業を将来にわたり継続していくためのビジョン策定に昨年度から2カ年で取組んでおり、使用者のご意見もビジョンに反映させるため、無作為で抽出した世帯にアンケートをお願いをしたところです。料金については、現在のところ、現状の料金維持を基本に考えております。	
41	和知	細谷共同集会所	質疑	「味夢の里」にホテルができて町内で周遊してもらわないと意味が無い。ビジョンがあるか、また、戦略について聞きたい。	海外のホテル事業者が建設予定であり、価格も比較的安く、長期滞在型のものと認識している。京丹波町で観光してもらうことが重要であり、町内観光ルートづくりが必要と考えています。森の京都DMO（地域振興社）と連携し、素通りにならないよう考えてまいります。	
42	和知	細谷共同集会所	要望	北部地域の一次避難所である下粟野体育館は老朽化による雨漏りや床のたわみ等が生じている。また、通信機能の設置（CATV等）、冷房・暖房機器の充実等をお願いしたい。一次避難所への道も土砂災害の恐れがあるため、安心安全な場所とは言えない。北部地域の中心に新たな避難所（防災センター）の設置も検討をお願いしたい。	体育館では空調も無く、防災センターが必要である旨は、重々理解していますが、新設は難しいというのが現状です。下粟野体育館の改善をできる範囲で行うことをご理解いただきたいです。	
43	和知	細谷共同集会所	要望	仏主区の避難所である「すこやかセンター」は、停電の多い地域であるため自家発電装置を配備してほしい。	町で何台かはポータブルの発電機を保有している。配備について今後検討いたします。	町自主防災組織育成事業費補助金の活用による導入も検討願います。

令和元年度町政懇談会『タウンミーティング』まとめ

【町への 質疑、意見・提言、要望】

No.	地区	会場	区分	提言、質疑、要望等の内容	当日回答	補足等
44	和知	細谷共同集会所	要望	北部地域の町道破損箇所の補修と除雪による外則線のはがれの改修をお願いしたい。 区で防犯灯を設置しているが、停電時に真っ暗になるため町道の安全灯設置（蓄電池対応等）に係る補助をお願いしたい。	検討いたします。	
45	和知	細谷共同集会所	要望	林道の災害による土砂が砂防ダム（土木）でいっぱいになり、雨が降ると川が赤くにごる。鮎や雑魚さえいない状況。対策が必要ではないか。	砂防ダムには2種類あり、土砂をためるタイプのものもあるため、取り除く判断については難しいですが、京都府に要望としてあげてまいります。	
46	和知	細谷共同集会所	要望	7月からの和知支所の体制について、宿直が廃止となったが火事や熊出没の際、重要な窓口として残してほしい。	過去の記録等を勘案し、協議の結果体制を変更しました。消防等の電話は転送で対応いたします。今後もしっかり検証を行い、支障があれば元に戻すことも考えております。	
47	和知	和知ふれあいセンター	質疑	安栖里区の消防詰所の改修を目的に区で積立をしていた。以前に、再編成をして安栖里に防災センターを建てる計画があると聞いて、積立をしていない。その計画はあるのか。	新町になり京丹波消防団となりました。その時におおむね10年後に見直す答申がなされていまして。昨年、審議会が開催され答申がなされましたが、団員の確保等についての答申をいただきました。 瑞穂地区については、防災センターが地域ごとに整備されていますが、丹波地区、和知地区については整備されておりません。将来的には必要と考えておまして、今後、部の再編と合わせて検討いたします。	
48	和知	和知ふれあいセンター	質疑	災害復旧に対し感謝申し上げます。 JRのICOCAカードの利用が胡麻までとなっており、京丹波町の4つの駅は対象外とされた。また、綾部はできる。町としてどの様に考えているのか。また、JRに対して要望提言要求されていくのか聞きたい。	新聞報道もされましたが、ICOCAカードの利用は胡麻まで可能となることとなり、胡麻から先は、綾部・福知山・舞鶴など主要な駅に設置されることになりました。この件に関しては以前から要望しており、昨年の秋にも南丹市と合同でJR西日本大阪本社に要望に向かいました。その時には、利用者が少ないと設置出来ないと聞いており、残念ながら設置は叶いませんでした。 しかし、決して諦めたわけではなく、今後もJRに対して要望いたします。和知には和知駅を守る会もあり、機会があれば、そうした地元の方と要望にいきたいと思っております。	
49	和知	広野公民館	要望	京都縦貫道の事前調査が平成25年に行われた。工事が終わったら調査をするとのことだったが、事後調査を何時されるか国土交通省に聞いていただきたい。	国土交通省に確認し、後日回答いたします。	国土交通省において、現在調査実施いただいております。

No.	地区	会場	区分	提言、質疑、要望等の内容	当日回答	補足等
50	和知	広野公民館	質疑	空家バンクで使える家は良いが、荒廃している空家は防火上問題がある。町内に空家はどれだけあるのか。 潰す場合は高額なお金がかかる。危険な家屋は町が潰されているのか。危険な家屋は町から持ち主に指導をしてもらえるのか。	手元に資料はありませんが、調査はしています。 苦情が来た場合は持ち主に連絡をしていますが、町が処分をすることはしていません。法律的に処分できるようになってきましたが、個人の財産なので、町から個人に処分をお願いをしている状況です。	
51	和知	広野公民館	質疑	12時(正午)になる音楽が「イエスタデイ」である。何故お昼なのに「昨日」なのか。	防災無線を設置した平成13年当時は、その音楽しかなかったため、ご了承願います。	
52	和知	広野公民館	質疑	昨年の秋、大規模な鳥獣害の駆除をするということで、区民に流れ弾があたると危険なので屋外に出ないようにと区内を注意して歩いた。 当日の第6ブロックの成果と駆除された猟師さんの人数を教えてください。 サル対策協議会での京丹波町の対策を教えてください。サルのルートがわかれば対応も考えられる。	広域捕獲を南丹市と一緒にすることもあります。そんなに成果は出ておりません。シカが1頭2頭くらいのことです。 猟師さんは20名ほど出いただいています。 篠山市は群れの調査を行い個体数を減らす取り組みをされ、50から60頭減らされました。京丹波町でも個体数や被害をしっかりと調査して、それらを元に京都府で審査をされサルの捕獲数が決まるようであるので、その取り組みを始めたいと考えています。サル専用の捕獲檻を3基購入し、市場・大迫・升谷に配置し、できるだけサルを捕獲しようと取り組んでいます。 他に電柵の補助も行っていますのでご利用いただきたいと思ひます。	広域捕獲事業として和知西部で実施し、20名でシカ2頭を捕獲しました。大丹波地域サル対策協議会は、丹波篠山市を中心に生息する群れを管理する関係市町で構成する協議会であり梅田地区に出没する群れを対象としています。したがってそのほかで出没する群れに対しては対象外ですが、被害防止にかかる有効な柵や生態特性などについて情報共有を図りたいと考えます。サルのルートにつきましては、群れの維持に必要な食糧を求めて移動することから例年同じ時期に出没しますが、今年度については、例年と異なる行動が見受けられます。
53	和知	広野公民館	質疑	7月から支所の宿直がなくなったが、夜間に火事が発生した場合は本庁に電話をかけたらいのか。	火事は消防119番に通報願います。本庁にかけてもらってもよいのですが、宿直は1人です。電話が取れない場合もあります。まずは消防署にかけていただきたいと思ひます。	
54	和知	広野公民館	意見・提言	少子高齢化の現在、若者を増やすため、町営住宅を建てて、1年間無料にして体験をしてもらい移住をしてもらったらどうか。	空き家バンクによる移住者への支援を推進しているが、扱える物件が少ない。移住定住については目標を定めて進めていきたいです。	
55	丹波	竹野地区基幹集落センター	要望	中畑区の課題として府道篠山京丹波線の1.5車線から2車線化に向け、要望する。	8月7日に府・県道篠山京丹波線道路整備促進期成同盟会総会もあり、2車線化に向けて取り組みを進めます。	

No.	地区	会場	区分	提言、質疑、要望等の内容	当日回答	補足等
56	丹波	竹野地区基幹集落センター	要望	府道沿いで本年2月に1回、5月に2回、廃棄物の不法投棄があった。町によれば、原状回復は、投棄された土地の所有者の対応となるとのことであった。支障となり、林道にも入れない状況なので撤去してほしい。出来ないのであれば、監視カメラを設置してもらえないか。	不法投棄について確認いたします。また、防犯カメラのことについては検討いたします。	要望を受け、不法投棄防止看板を設置。可搬式監視カメラは導入を検討中です。
57	丹波	中央公民館	質疑	高速道路ができて便利になったが、通過の町となり町内店舗等が寂しい状況である。京都の南部では区画整理により住宅地が整備され人口が増え、北部では大型店舗の進出などが見受けられるが、京丹波町内にも大型店舗がくれば賑わうのではないか。町長のお考えをお聞かせいただきたい。	高速道路ができて便利になったが、通過の町とならないよう京丹波町の魅力をアピールして高速道路から下りてもらうような方策を検討したいと考えています。大型店舗については、丹波マークス横に店舗ができる話がありました。誘致等も行いたいと思っておりますが現状では計画はありません。通過の町とならないような具体的な案はまだありませんが、京丹波ブランドである食材を活かしたまちづくりなどが考えられます。皆様からもアイデアがあればご提言いただきたいです。	
58	丹波	中央公民館	質疑	ケーブルテレビの今後のあり方について審議会が設置されたと聞くが、どのような方向なのか。また、インターネット環境について、どうなるのか。	情報通信技術については、日進月歩であり、今後のケーブルテレビ事業については、民営化も含めて審議会で検討いただいています。年内には答申を踏まえて今後の方針を決定したいと考えています。	インターネット環境を含むCATVのあり方について、審議会から「民営化へ移行することが妥当である」との答申を踏まえ、CATVの民営化に向けて推進してまいります。
59	丹波	中央公民館	質疑	朝の定時放送ついて、毎日、同じ行事の内容を繰り返し放送されているので、マンネリ化しない放送ができないか。	定時放送については、タウンミーティングの放送など連続して放送しています。そういった提言を踏まえて、工夫できるか検討いたします。	
60	丹波	富田公民館	質疑	平成28年の新聞記事からですが、京丹波町では2010年の限界集落が11区、5年後の2015年で16区になっている。町として限界集落に対してどのような手立てを考えているのか。	人口は減少していますし、高齢化率は42%になっています。限界集落も増えています。決定的な解決法はありませんが、町でできること、個人でできること、集落の中で協力・協働できることをそれぞれ考えていく必要があると思っております。ふるさとに長く住んでいただけるよう町として考えていきたいです。	

No.	地区	会場	区分	提言、質疑、要望等の内容	当日回答	補足等
61	丹波	富田公民館	質疑	<p>味夢の里にホテルが出来るということで、地域の方も京丹波町の自慢ができるということもありますが、外にでておられる方々にとっても自慢になるような町でありたいと思うようになりました。京都市内へ行くと海外の方が多くいますが、京丹波町にも宿泊先を求めて来られる事も予想されます。そこで、京丹波町そのものを魅力ある町として今もPRしていただいておりますが、四季折々の自然が豊かであるとか多様な文化であったり府内唯一の鍾乳洞があったり、ちょうど良い里山で日本らしさがあり魅力満載の町と思っています。まちの魅力をアップするという視点のまちづくりを進めていただきたいと思っています。予算の中にも観光まると推進事業もあると思いますが、町長の言葉のなかにもあったように京丹波町を巡れるようなツアーなんかも考えているとお聞かせいただきすごくうれしいと思っています。若者たちもここ好きやからここ見たいと感じられるような京丹波町であってほしいと思います。就職先がちょっと離れたところでも退職したら帰ってこようと思っているとか、よりどころの町であってほしいなと感じています。町長の思いも聞かせていただきたい。</p>	<p>京都市内では外国人が多く来過ぎるオーバーツーリズムになっているので、京都府も観光客を府内に満遍なく持っている政策がないかということもあってホテルの誘致が決まったところではあります。ホテルに泊まって色んなところを巡っていたくため、色んなコースを考えなければならないと考えますし、森の京都DMO等とも連携する中で観光の広域化も進めたいと思います。また、町には色んなものがありますが、住んでいる人は中々気づかない面もありまして、いいところがいっぱいあるというのを住民が知らないといけませんし、発信もしていきたいと考えています。須知高校の中でも子どもたちに京丹波町のことをしっかり勉強してもらおうプログラムを作っていただいております、また、国の地域創生の考えの中でも高校生が卒業して地元から出て行ったら帰ってこないの、子ども達に町のよさをしっかり教育していくことが必要とされております。自分の町をよく知るといのは第一歩だと思います。</p>	
62	丹波	富田公民館	要望	<p>書店で森の京都の本を買った。京丹波町のことがいっぱい書いてあります。是非、新庁舎のどこかに飾っていただきたい。</p>	<p>飾らせていただきたいと思います。</p>	

令和元年度 タウンミーティング

アンケート結果集計表

令和元年7月2日～8月8日 実施【12会場】

令和元年度 町政懇談会『タウンミーティング』参加者数集計表

開催日	開催場所	対象区	R1年度参加者			H30年度参加者 合計	比較
			男	女	合計		
7月2日 火	山村開発センターみずほ	中台、橋爪、和田、大朴、井脇、 井尻、長谷、八田、小野	23	4	27	37	△ 10
7月5日 金	梅田振興センター	坂井、水原、上大久保、下大久保、 鎌谷下、鎌谷中、鎌谷奥、東又	23	3	26	21	5
7月9日 火	三ノ宮基幹集落センター	保井谷、粟野、妙楽寺、水呑、 三ノ宮、質志、戸津川、猪鼻	17	0	17	20	△ 3
7月11日 木	質美振興センター	行佛、中村、庄ノ路、和田、 上野、下村、北久保	18	9	27	31	△ 4
7月16日 火	市場ふれあいプラザ	中山、升谷、市場、大倉、大迫、長瀬、 塩谷、篠原、上乙見、下乙見	24	4	28	28	0
7月18日 木	細谷共同集会所	西河内、下栗野、細谷、上栗野、仏主	19	0	19	19	0
7月23日 火	和知ふれあいセンター	本庄、小畑、坂原、安栖里、 中、角、広瀬	27	7	34	46	△ 12
7月26日 金	広野公民館	才原、大簾、広野、出野、稲次	21	1	22	17	5
7月30日 火	竹野基幹集落センター	笹尾、中畑、辻村、中村、下村、鎌倉、 西階、水戸、新水戸	32	6	38	43	△ 5
8月1日 木	京丹波町中央公民館	須知、市森、上野、蒲生、蒲生野、 曾根、院内、幸野、森、塩田谷、安井	54	7	61	83	△ 22
8月6日 火	富田公民館	豊田、上豊田、富田、実勢	39	7	46	58	△ 12
8月8日 木	下山集会所	下山、グリーンハイツ	16	1	17	37	△ 20
丹波地区(4会場)合計			141	21	162	221	△ 59
瑞穂地区(4会場)合計			81	16	97	109	△ 12
和知地区(4会場)合計			91	12	103	110	△ 7
総合計(12会場)			313	49	362	440	△ 78

開催日時 令和元年7月2日(火)～8月8日(木) 19:30～21:00	開催会場 12会場 丹波地区 4会場 瑞穂地区 4会場 和知地区 4会場	内容 ・令和元年度予算について ・機構改革と事業について ・新庁舎建設計画について ・地域の課題等について懇談、意見交換 等
---	--	---

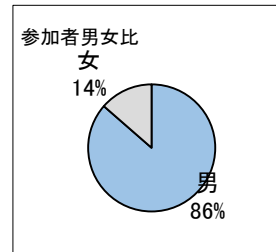
■アンケート回答率

丹波	75.3%
瑞穂	86.6%
和知	78.6%
全体	79.3%

■参加者数 単位:人

	計			男			女		
	R1	H30	比較	R1	H30	比較	R1	H30	比較
丹波地区	162	221	-59	141	191	-50	21	30	-9
瑞穂地区	97	109	-12	81	89	-8	16	20	-4
和知地区	103	110	-7	91	98	-7	12	12	0
計	362	440	-78	313	378	-65	49	62	-13

1 性別参加者比

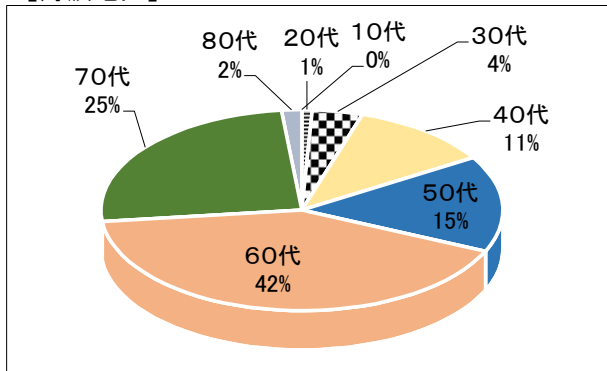


参考:過去の参加者数 単位:人

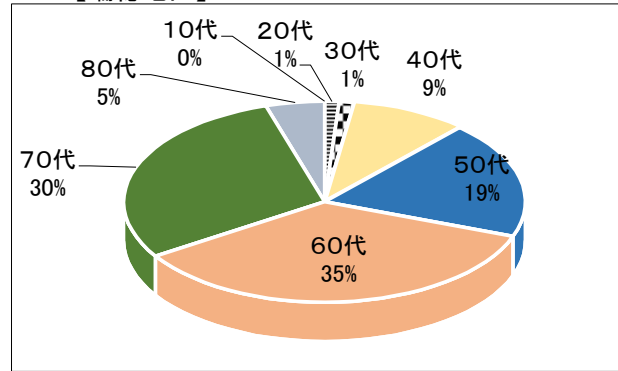
	H25	H26	H27	H28	H29
男	536	495	486	433	445
女	126	108	101	63	72
計	662	603	587	496	517

2 年齢別参加者数

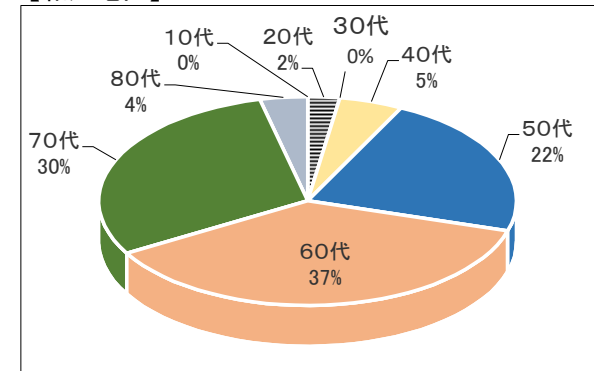
【丹波地区】



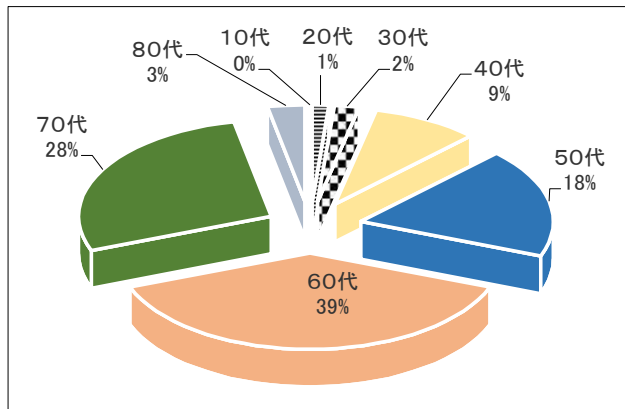
【瑞穂地区】



【和知地区】



【全体】

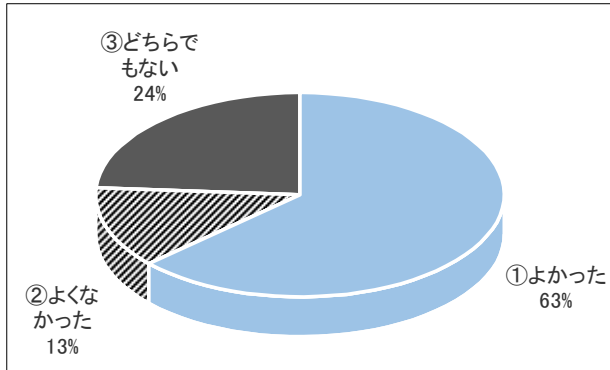


【結果】

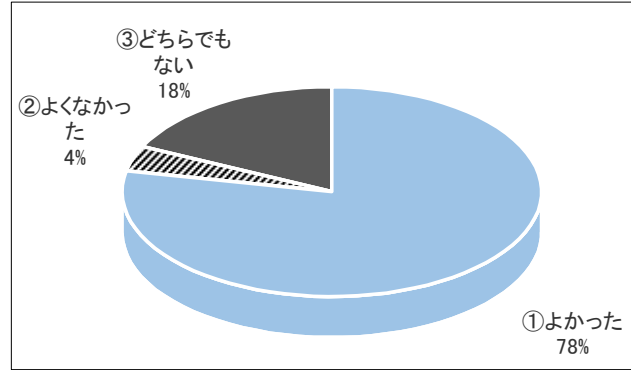
- 参加者は、昨年に比べ78人減少。
- 男女比は、男性が86%、女性が14%と女性の参加が少ない。
- 参加者は60代が全体の約4割。50～70代で8割以上を占める。
- 子育て世代(30代・40代)の参加は11%と昨年度と変わらない。
- 若年層(10代・20代)も昨年度と同様で参加は少数となった。

3 「タウンミーティング」はいかがでしたか。

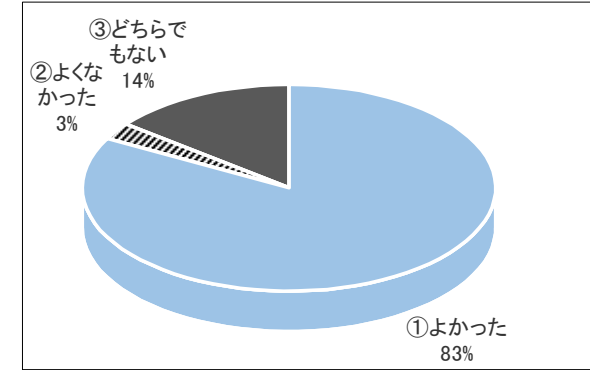
【丹波地区】



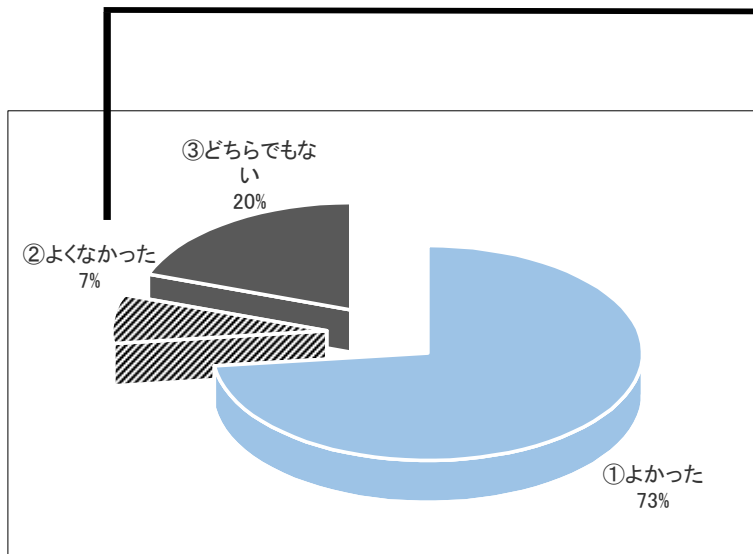
【瑞穂地区】



【和知地区】



【全体】



よくなかった理由(複数回答可)

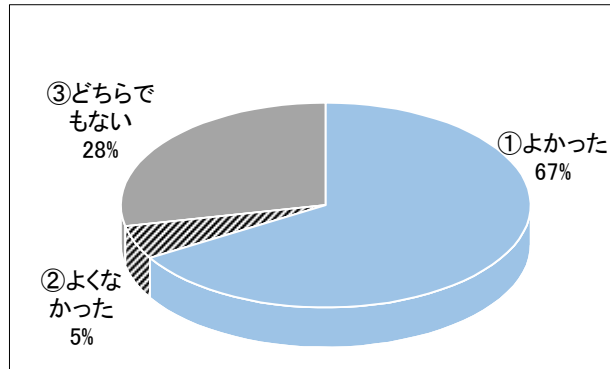
①時間配分が悪い	5件
②説明が長い、わかりにくい	4件
③充実した対話の場でない	11件
④その他	7件

【結果】

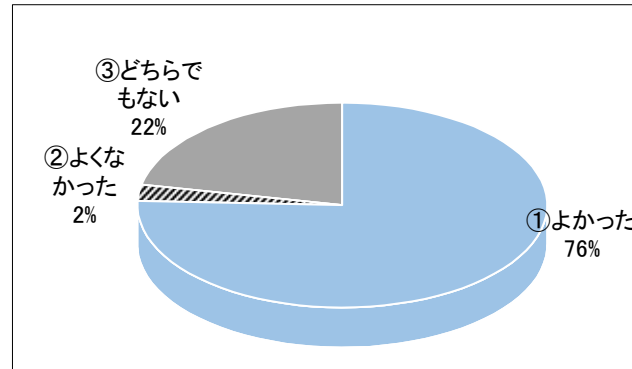
- 「タウンミーティング」について、よかったという意見が約7割。
- よくなかったという意見は全体の約1割弱。
- よくなかった理由としては、充実した対話の場でないとの意見が最も多い。

4 本年度も、12会場で開催していますが、いかがですか。

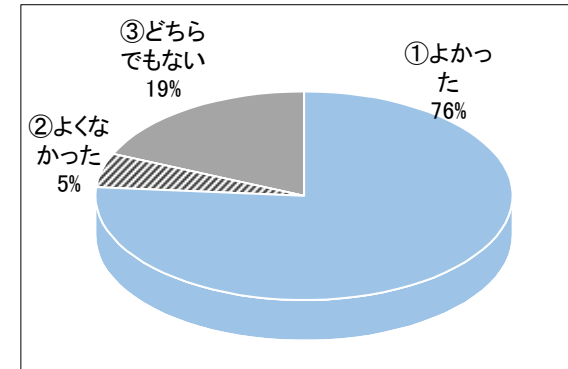
【丹波地区】



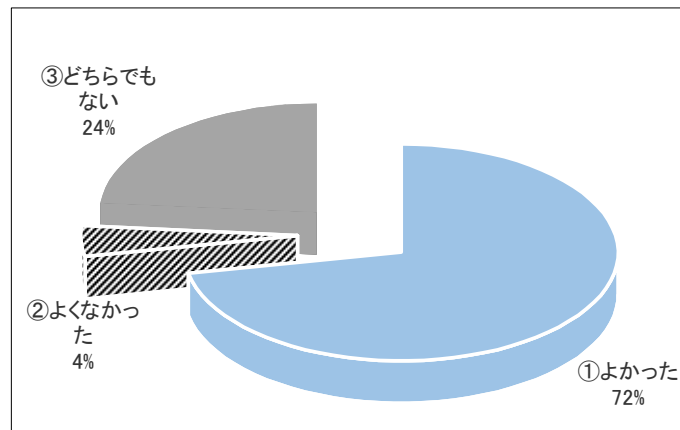
【瑞穂地区】



【和知地区】



【全体】

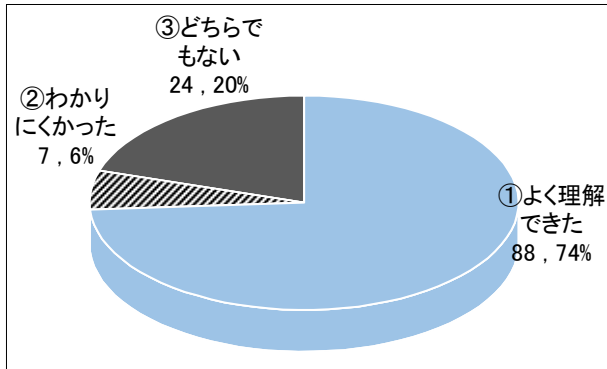


【結果】

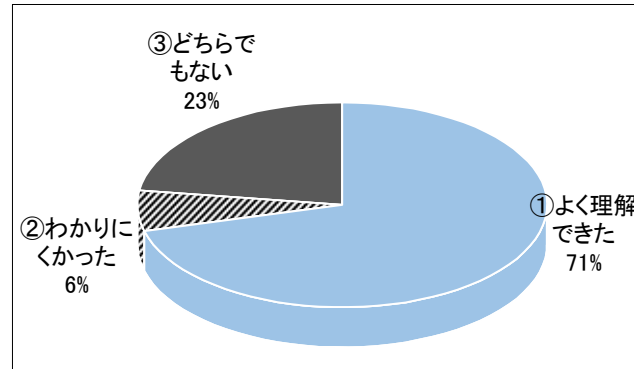
- 12会場での開催について、よかったという意見が7割。
- よくなかったという意見は全体の約1割未満。
- よくなかった理由としては、もう少し多くの会場で開催してほしいとの意見が多数。

5 資料はわかりやすかったですか。

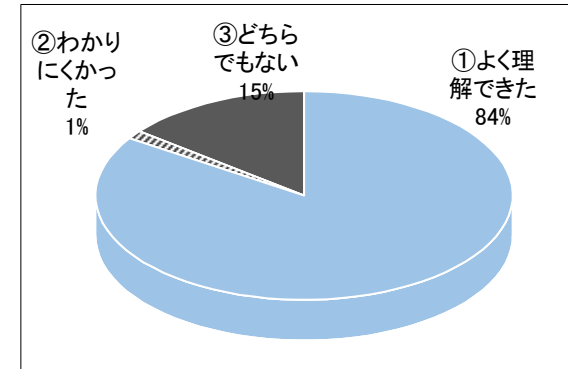
【丹波地区】



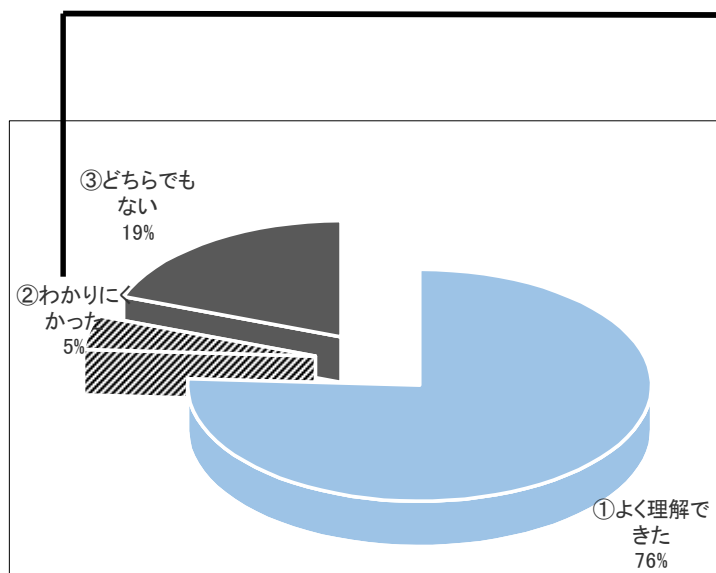
【瑞穂地区】



【和知地区】



【全体】



わかりにくかった理由(複数回答可)

- ①内容がわかりにくい 3件
- ②文字が小さい、見にくい 4件
- ③量が多い 3件
- ④量が少ない 2件
- ⑤その他 2件

【結果】

- 資料について、よく理解できたという意見が約8割。
- わかりにくかったという意見が約1割。
- わかりにくかった理由としては、文字が小さい、見えにくいという意見が多い。

アンケートに記載された懇談会の意見・感想(自由記述 等)

■開催方法・内容等について

- ・昨年より評価できる。
- ・町の執行部側と町民の間に壁があると感じた。ミーティングに相応しい会場レイアウトを検討すること。
- ・出席者が多くなる方法を検討すること。
- ・事前に告知放送等を活用し、対話型で行うことを周知してもらっていると、もっと意見が出たと思う。地元の良い事例はあるので、別の機会を設けて吸い上げを行ってほしい。
- ・5年後、10年後の目標とする姿を話し合うような場を設定し、行政と町民が一緒になって進む姿を考えられると良いと思う。
- ・参加者が少ないので、区長に呼びかけるなど検討すること。
- ・高齢者の参加が難しい。役員ばかりの出席になってきているのではないか。
- ・活発な意見が出るなか、時間的に短かったのが残念。
- ・時間が短い。
- ・もっとざっくばらんな懇談会を希望する。
- ・お年寄りや子どもを持つお母さん世代が参加しやすい屋間にも、このような機会を設けてほしい。
- ・挨拶と説明の時間が長すぎる。
- ・会場にクーラーを入れてほしかった。
- ・会場数を増やすのは難しいと考えますが、時間は長くってほしい。
- ・町職員等の負担も考え、会場数はこれくらいでよい。
- ・本来はもっと少ない地域で出来ればよいが、人口が少ないのでこのくらいでよいと考える。
- ・さらに縮小したほうがよい。
- ・夜間であることと、距離が遠くなり、足が遠のく。
- ・参加者が減少している。大切な意見交換の場であることから、参加の増員方法を検討するべき。
- ・年間を通じて、年代別等、様々な形態のミーティングができればよいと考える。
- ・合併後は会場数が減っていき、雰囲気が変わり意見も出難くなった、本来の目的と程遠いと感じる。
- ・2年に1回の開催にし、倍くらいの会場数にしてはどうか。
- ・毎回趣向をこらして実施されていることに感謝する。
- ・もう少し細分化し、住民の声を聞いてほしい。
- ・地元の参加者が減っている。もっと地元に関心を持たなければならない。
- ・町外者であるが、このように町民と行政が直接意見を出し合える場は貴重であると感じた。これからも継続し、活性化が図られることを望む。
- ・参加者の固定化も踏まえ、日曜日開催等も検討してはどうか。
- ・広い地域を集約しての開催は意見が出難いと感じた。
- ・椅子のある会場での開催を望む。
- ・財政状況についても説明してほしい。

■新庁舎建設計画について

- ・木材活用の必要性について理解できた。
- ・新庁舎建設の業者は入札で選定すること。
- ・車から車椅子でも乗降しやすい配置は必要。
- ・明確な説明で、よく理解できた。
- ・新庁舎建設に係る木材調達案件の随意契約について、疑念が生じる。また、京丹波町の将来を見据えて考え、身の丈にあった庁舎にするべきである。

■懇談・意見交換について

- ・ざくばらんに話し合える雰囲気づくりが必要。
- ・自分たちの町に愛情を持っておられる人たちの発言を聞かせていただいた。
- ・移住してこられた方の意見等は町づくりの参考になると感じた。
- ・活発な意見交換ができてよかった。
- ・もう少し多くの方の意見が聞きたかった。
- ・質問者の話が長い。
- ・熱心な発言がありよかった。
- ・町長の丁寧なお答えがよかった。
- ・毎年、同じような話題となっている。
- ・日ごろ皆さんが考えていることが発言されたことは意義のあることであった。
- ・町と住民がお互いに学んだりする良い機会と感じた。もっと住民は参加して関心を持つべき。
- ・地域の課題について、十分な回答が得られず残念であった。
- ・要望の場となっている。本来のタウンミーティングの狙いをもう少し強く押し出すこと。
- ・初めての参加で意見が出せてよかった。

■資料について

- ・もう少し少なくてもよい。
- ・課題や検討したいことを整理して提示したほうがよい。
- ・楽しさが少ない。
- ・人口等のデータについて、最新の値が見たかった。
- ・書き込めるメモ欄がほしい。

■意見・要望等

- ・就職先が少ないので、改善してほしい。若い世代が地元に残れない。
- ・今まで投資してきた施設等の状況を知りたい。地域熱供給の状況や、4つの道の駅の効果等。
- ・自力で財政がうまくいくような方向性を見出してほしい。
- ・地域の課題や要望を聞き入れてほしい。野焼きなどは環境整備や農作業に欠かせない。
- ・にぎわい創生課と住民との会議など、経常的に取り組んではどうか。
- ・サルの駆除を町が中心となって実施してほしい。追い払いは効果が薄い。
- ・森林の利用と植林を進めてほしい。特に、広葉樹の植林を進めてほしい。
- ・ネット環境の改善が必要。
- ・職員教育は大切であると考え。タウンミーティングへの参加状況の把握などを行うべき。CATVを視聴し、情報収集も必要と考える。
- ・「行政相談の日」というような機会が必要だと感じる。
- ・避難所の充実を（洋式トイレ、冷暖房完備 等）
- ・町民として自覚を持ってがんばりますので、町の支援もよろしくをお願いします。
- ・短期間で解決できない課題が多いが、出来ることはすぐに対応をお願いします。
- ・各地域との連携を深め、生きがいと活力ある地域づくりをお願いしたい。
- ・農業基盤の整備・充実に向けて農協との連携を図ってほしい。（和知地区のセンターが廃止となり不便。）
- ・防災施策の充実を。
- ・野良猫の被害が深刻で、改善策が必要。
- ・サルの個体数減少に向けて、法律関係など行政として対応をしてもらいたい。
- ・子どもの通学等もあり、ICOCAの延伸をお願いしたい。
- ・JRの安栖里駅と立木駅を通過する普通電車について、若者定住の為に停車するようにしてもらいたい。
- ・若い人との交流ができる機会が多くあればよいと思う。
- ・川刈りが高齢化により困難になってきた。今後、方法等の検討が必要。

令和元年度町政懇談会『タウンミーティング』 まとめ

企画 / 企画財政課 企画広報係

支所 / 地域支援担当

